

さっぽろ経済

札幌商工会議所

12

DECEMBER 2012
VOL.640

特集

インバウンド観光振興に向けた「観光+α」を考える
「自転車観光」の可能性

トップの戦略 vol.9

株式会社ネクステック
代表取締役社長

大石 憲且

北の逸品

会員企業が

こだわりを持って開発した製品を

認証する「北のブランド」。

その「逸品」の誕生について

をご紹介します。



屋根への施工。太陽熱を90%
反射し、雪庇防止にも役立つ



紫外線をカットするため、外回り
の塗装では建物の保護にもなる



内装への塗装にも使用可能。
壁面のほか、天井や床下の
断熱材と替えたり、断熱材に
直接吹き付けて断熱性能を
上げる利用方法も



中空ビーズで熱の出入りをカット 高機能の断熱塗料を低コスト化 断熱αコートECO

もの
づくり

厳しい冬にも省エネ・節電を求められる
今、建物の断熱性能の重要性は増している。

近年は断熱材の性能が上がり、より薄いも
ので高い効果を得られるようになった。しか
し、断熱材は配線の穴などの細かいすき間

をカバーしにくい。その時に断熱塗料が役
に立つと、(有)リベラの代表取締役 根本保夫

さんは見通していた。根本さんは長年輸入
塗料を中心に塗料の販売と施工に携わり、

平成十二年に同社を設立した。

しかし、断熱塗料はコストに問題があった。

「以前は高価だったため、なかなか断熱塗料
の導入を薦められませんでした。塗料はほ

とんど本州で生産されているので、北海道に
運ぶ分さらにコストが高くなるのです。普

及しなれば価格は下がらないので、まず
輸送費だけでもなくそうと、道内での生産

を目指しました」と、根本さんは塗料の開
発に取りかかった。

断熱機能の核となるのは、五〜五十マイク
ロメートルという微細な中空ビーズだ。加熱

すると内包された炭化水素がガス化して膨
らみ、断熱効果を発揮する。一般的な断熱

塗料はセラミックビーズを使用するのに対し、

アクリルビーズを採用。さらに配合量を三倍
にして保温性を高めたのが本品である。

効果は、科学的に立証されなければいけ
ない。同社でハロゲンランプを用いて、本品を

塗装した鋼板と、していない鋼板を加熱す
る実験をしたところ、三十度以上の断熱効

果を記録した。「本品一ミリの塗布で、一セ
ンチの断熱材と同じ効果が出ます」と根本

さんは効果を説明する。また、北方建築総
合研究所や林産試験場でも試験を実施し、

専門機関からのデータも得ている。

建物の断熱以外にも、工場などの機器の
過熱によるやけどの防止など、活用できる

場面を提案し、需要は二倍以上に伸びた。
「たくさん生産できれば、さらに安く提供で

きます。断熱塗料を身近なものにしたいで
すね」と、根本さんの努力は続く。

認証
ポイント

コート材そのものの基本性能と安全性の確認を林産試験場で実施済みで「塗るだけで断熱効果を発揮し、汚れ・カビ・水・紫外線に強いエコな塗料」として評価。

ハイブリッド断熱塗料 断熱αコートECO

【希望小売価格】
45,000円 (1缶12kg入り)

【購入可能店舗】
代理店にて販売。
代理店の案内は
(有)リベラ
(TEL: 011-888-6522)まで

(有)リベラ
札幌市清田区
里塚3条2丁目2-19
TEL: 011-888-6522



札幌商工会議所認定
北のブランド

<http://www.sapporo-cci.or.jp/north-brand/> (北のブランド公式ホームページ)

●お問い合わせ/札幌商工会議所 部会・産業部 産業2課 TEL:011-231-1374